

**平成29年度  
全国学力・学習状況調査結果**

**平成29年10月**

**熊本県教育委員会**

# I - 1 教科に関する調査（県全体）

【小学校】					
		国語		算数	
		A	B	A	B
全国		74.8	57.5	78.6	45.9
熊本県		76	57	80	46

【中学校】					
		国語		数学	
		A	B	A	B
全国		77.4	72.2	64.6	48.1
熊本県		77	71	63	47

- 教科に関する本県の概要は、全体的に全国平均と同程度の状況にあります。
- 小学校では、国語A、算数Aが全国平均を上回っていますが、国語Bは全国平均を下回っています。算数Bは全国平均と同程度の状況にあります。
- 中学校では、国語Aは全国平均と同程度の状況にありますが、国語B、数学A・Bで、全国平均をやや下回っています。

# I - 2 教科に関する調査（各管内等）

	【小学校】				【中学校】			
	国語		算数		国語		数学	
	A	B	A	B	A	B	A	B
全国平均	74.8	57.5	78.6	45.9	77.4	72.2	64.6	48.1
県平均	76	57	80	46	77	71	63	47
宇城	78	59	84	47	75	69	61	45
玉名	77	57	81	48	74	67	59	44
菊池	76	57	80	46	76	71	63	49
阿蘇	74	57	80	45	75	69	63	47
上益城	73	52	78	42	73	69	60	45
八代	75	55	79	45	74	66	58	44
芦北	74	51	76	40	78	73	63	48
球磨	74	56	79	45	75	68	61	46
天草	76	57	82	46	77	72	60	47
山鹿市	78	60	84	51	79	76	64	49
熊本市	77	58	80	47	78	72	65	48

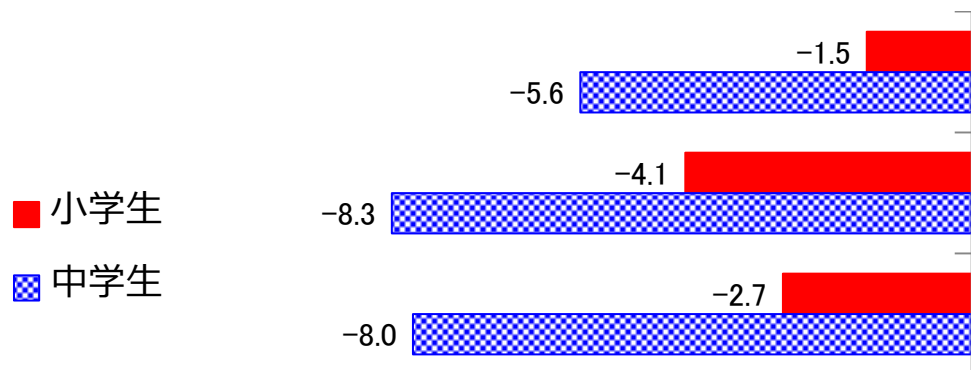
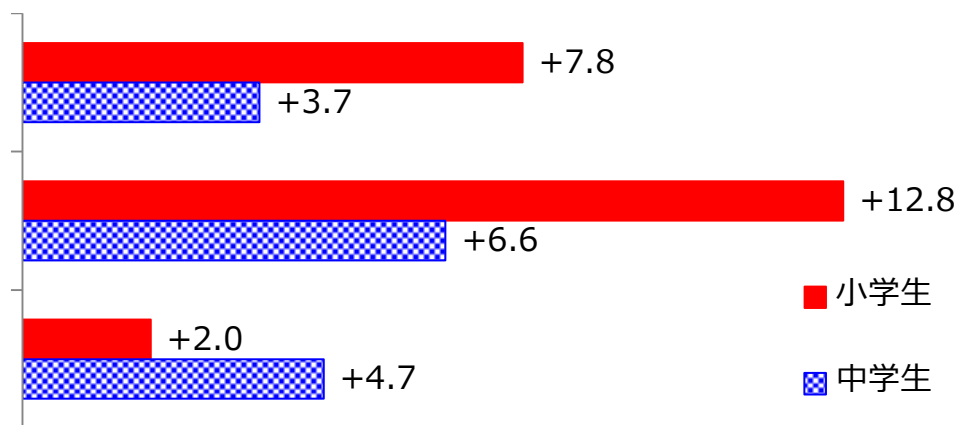
# I - 3 児童生徒質問紙調査

熊本県の児童生徒は、「本を読んだり、図書館に行く」「授業で目標（めあて）とまとめを書いていた」などの項目で、全国平均に比べて高い状況にあります。しかし、「友達の前で自分の考えを発表することは得意か」「家で学校の予習をしているか」などの項目では、全国平均を下回っています。

## 本県と全国との差が大きかった3項目

## 全国平均との差

- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか  
(週に1~3回, 4回以上)
- 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか  
(「参加したことがある」)
- 5年生(中2)までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか  
(「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」)



△ 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか  
(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」)

△ 家で、学校の授業の予習をしていますか  
(「している」+「どちらかといえば、している」)

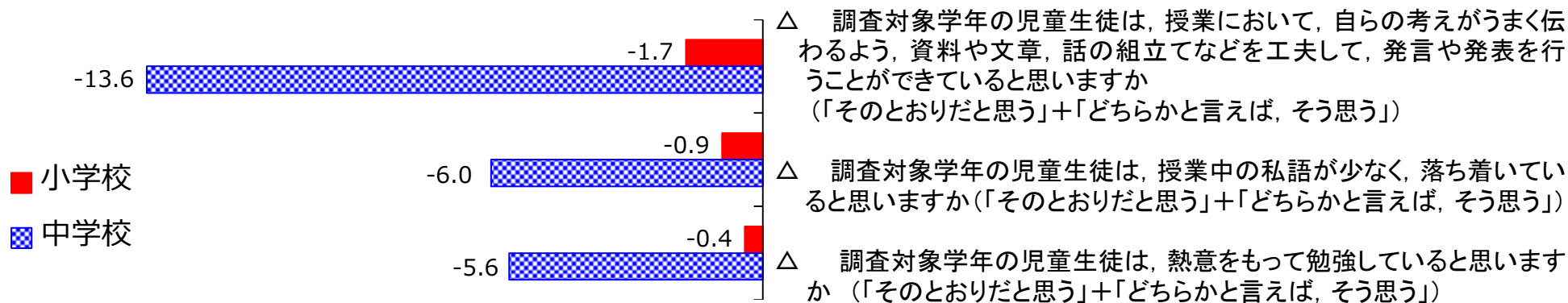
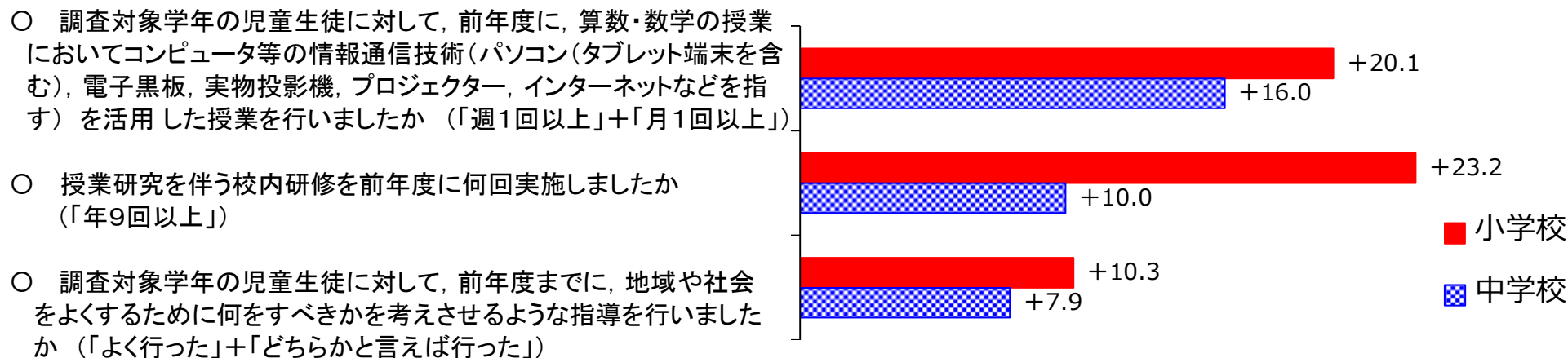
△ 5年生(中2)までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか  
(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」)

# I - 4 学校質問紙調査

熊本県の小中学校は、「ICTの活用」「授業研究を伴う校内研修」などの項目で、全国に比べ、実施回数が多い状況にあります。しかし、「工夫して発言や発表を行うことができる」「授業中の私語が少なく、落ち着いている」などの項目では、全国平均を下回っています。

本県と全国との差が大きかった3項目

## 全国平均との差



### Ⅱ－1 小学校国語

- (1) 成果と課題
- (2) 成果が見られた問題
- (3) 課題が見られたA問題の分析
- (4) 課題が見られたB問題の分析
- (5) 質問紙調査
- (6) 今後の指導に当たって

## 成果

## 小学校国語

## 課題

### 成果が見られた内容

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすること  
【関連問題 A7(1)】参加たいしょう(対象)  
本県51.8%, 全国42.0% 差+9.8
- 俳句の情景を捉えること(俳句の情景)  
【関連問題 A4一】  
本県80.6%, 全国79.4% 差+1.2
- 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと  
【関連問題 B1三】  
本県50.5%, 全国48.4% 差+2.1
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えること  
【関連問題 B3一】  
本県77.6%, 全国75.9% 差+1.7

### 課題が見られた内容

- 俳句の情景を捉えること(俳句のよさ)  
【関連問題 A4二】  
本県54.4%, 全国57.0% 差-2.6
- 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うこと  
【関連問題 A1】  
本県67.6%, 全国69.2% 差-1.6
- 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること  
【関連問題 B3三】  
本県41.6%, 全国43.7% 差-2.1
- 話の構成を工夫して話したり、聞き手の反応を見て話したりすることができるなどのスピーチメモのよさを捉えること  
【関連問題 B1二】  
本県67.6%, 全国69.2% 差-1.6

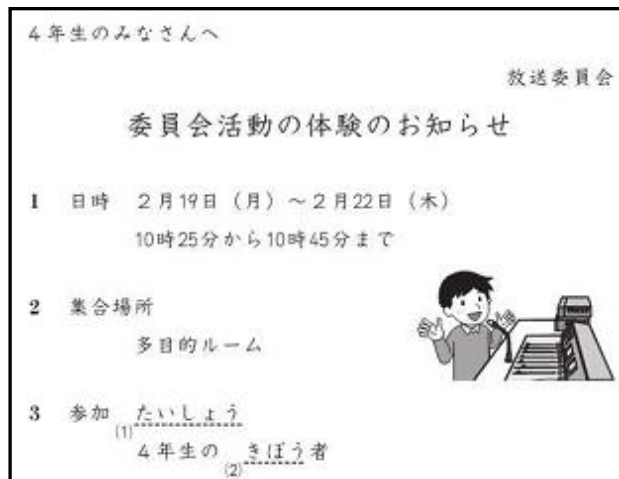
## 小学校国語

### 成果が見られた問題 1

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすること。

#### ●A7(1)(本県51.8%, 全国42.0%, +9.8)

傍線部の漢字の読みをひらがなで、点線部のひらがなを漢字で、それぞれていねいに書きましょう。



#### 【県学力調査との関連】

- 平成28年度第6学年 2(2) 正答率70.0%
- ・「対策」「志」「映(す)」を書くこと。

### 成果が見られた問題 2

- 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すこと。

#### ●B1三(本県50.5%, 全国48.4%, +2.1)

○ 書き出しの言葉に続けて、八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

○ スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。

○ 折り紙のみりよくについて、「スピーチメモ」と「グループの話し合いの様子」で出された意見から、それぞれ取り上げて書くこと。

三 石田さんは、友達の助言を受け、「スピーチの練習の様子」の中の「      」について、もう一度考えています。石田さんは、どのように話すとよいですか。その内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

#### 【県学力調査との関連】

- 平成28年度第6学年 1(1) 正答率52.6%
- ・事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫すること。



小学校国語

課題

○ 二つの俳句の情景や表現の特徴を踏まえた上で、【話し合いの様子】の内容に沿って、どのような観点で俳句を紹介しようとしているのかを捉えること。

【誤答例】・「4」と回答しているもの(31.6%)

課題となった問題

●A4二(本県54.4%, 全国57.0%, -2.6)

- 1 言葉のひびきや作者の季節を感じる心
  - 2 それぞれの作者の生き方や考え
  - 3 月の形が変化する様子や構成のくふう
  - 4 季語の使い方や季語から想像したこと
- 二 中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについて紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

<p>イ ひやひやと月も白しや秋の風 上島 鬼貫</p> <p>〈調べた内容〉 季語：秋の風 季節：秋 この俳句は、「秋のこちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。</p>	<p>ア 雪とけてくりくりしたる月夜かな 小林 一茶</p> <p>〈調べた内容〉 季語：雪とけて 季節：春 この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。</p>	<p>北田 アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。(音読)</p> <p>中西 リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の(A)を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。</p> <p>本間 イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。(音読)</p> <p>青木 「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような感じがした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。</p> <p>青木 そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。</p> <p>中西 作者の伝えたことって、今、青木さんが言ったことなかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。</p>
---	--	---

指導のポイント

- 文語の調子に親しむことについて
  - ・ 俳句の五・七・五の十七音から、季節感や風情、俳句に込めた思いなどを思い浮かべたり、七音五音を中心としたリズムから国語の美しい響きを感じ取りながら音読したり暗唱したりすることができるように指導すること。
- 具体的な指導について
  - ・ 児童の発達段階に応じた教材を選定すること。
  - ・ 各地域にゆかりのある歌人や俳人、地域の景色を詠んだ歌や句などを教材として開発すること。
  - ・ 短歌や俳句で選集を編んだり、心に残る句を暗唱して紹介したりすること。
  - ・ 高学年においては、俳句をつくることも考えられる。
  - ・ 高学年における古典の指導に当たっては、中学校での古典の学習との系統性を考えること。

小学校国語

課題

○ 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめること。

【誤答例】・条件①について、【話し合いの様子の一部】で示されている叙述を取り上げているが、条件②は満たしていないもの(25.1%)

課題となった問題

●B3三(本県41.6%, 全国43.7%, -2.1)

- ①(条件) 文を取り上げて書くこと。の横山さんのように、【物語の一部】から言葉や
- ② 取り上げた言葉や文をもとに、どうして松ぞうじいさんやと
- ③ び吉がきつねだと考えるのかを書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

田中 横山 田中 原

そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

私もそう思う。松ぞうじいさんは、きつねだからきつねのすんでいた穴の場所を知っていて、案内できたんだよね。田中さんの言いたいことはそういうことでもいいのかな。

①を示しながら「ここにもあるよ。「人間にうちとられたり」と書いてあるけれど、もし、松ぞうじいさんが本当に人間なら、「人間に」とか「うちとられた」とは言わないと思うから、松ぞうじいさんはきつねだと考えることもできるね。

そこからも、松ぞうじいさんがきつねだと考えられるね。他にも見つけたよ。

〽(話し合いが続く)〽

B

【話し合いの様子の一部】

三 さんは、【物語の一部】の言葉や文を取り上げながら、松ぞうじいさんやとび吉がきつねであると考えたわけを話しています。あなたが田中さんならどのようなわけを話しますか。次の条件に合わせて書きましよう。

指導のポイント

- 誤答について
- 自分の考えをまとめるために叙述を取り上げることはできるが、その叙述を基にして考えたわけをまとめることに課題がある。
- 指導について
- 叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる学習を行うこと。
  - その際、複数の場面の比較をしたり、物語全体に広がっている複数の叙述を関係付けたりして読むこと。
  - 高学年では、感動やユーモア、安らぎなどを生み出す優れた叙述に着目して自分の考えをまとめること。
  - 象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付き、自分の表現に生かして感想などをまとめることができるように指導すること。

## 児童質問紙から

多くの児童が、記述式問題の解答を最後まで書こうと努力しています。一方、話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりすることは、全国平均より低い傾向にあります。

- 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。  
「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」
  - 本県76.3%，全国77.2%，差-0.9  
(H27より2.5減少し全国との差は拡大)
- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。  
「当てはまる」
  - 本県19.0%，全国21.2%，差-2.2  
(H27より0.1増加し全国との差は縮小)
- 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。  
「当てはまる」
  - 本県29.3%，全国33.1%，差-3.8  
(H27と同じで全国との差は拡大)

## 学校質問紙から

補充的な学習指導の実施状況は、高い傾向にあります。目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業の実施状況も改善の傾向にありますが、基礎的・基本的な事項を定着させる授業は依然として課題です。

- 国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。  
「よく行った」
  - 本県19.5%，全国18.0%，差+1.5  
(H27より3.7減少し全国との差は縮小)
- 国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか。  
「よく行った」
  - 本県23.4%，全国24.5%，差-1.1  
(H27より0.5増加し全国との差は拡大)
- 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。  
「よく行った」
  - 本県50.0%，全国52.9%，差-2.9  
(H27より0.6減少し全国との差は拡大)

## Ⅱ-1 (6) 今後の指導に当たって

学力調査結果の分析から明らかになった小学校国語科の課題改善のため  
次の点に取り組みましょう。

### 課題が見られた内容

- 登場人物の相互の関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。
- 事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

### 取組

### 授業の中で

- 【まとめ】めあてや課題と照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめる。ノートに蓄積し、その後の「学習の手引き」として活用させる。
- 【振り返り】学習の成果や課題とその要因、課題の改善の方法等を共有させる。課題を自覚し、家庭学習や次の授業につなげる。

### 日々の取組の中で

- 目的や必要に応じて資料を読み、自分の考えをまとめて書いたり話したりする活動を行う。
- 語彙を豊かにするために、学習した内容を各領域の授業や実際の言語活動で活用させる。
- 日常的に読書に親しむために、学校図書館を計画的に活用する。

### Ⅱ－２ 小学校算数

- (1) 成果と課題
- (2) 成果が見られた問題
- (3) 課題が見られたA問題の分析
- (4) 課題が見られたB問題の分析
- (5) 質問紙調査
- (6) 今後の指導に当たって

# Ⅱ-2 (1) 成果と課題

## 成果

## 小学校算数

## 課題

### 成果が見られた内容

- 商を分数で表すこと。  
【関連問題 A2(4)】  
本県76.5%, 全国69.2% 差+7.3
- 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成されていることを理解すること。  
【関連問題 A6】  
本県81.5%, 全国75.5% 差+6.0
- 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めること。  
【関連問題 A9(2)】  
本県68.4%, 全国62.8% 差+5.6
- 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述すること。  
【関連問題 B3(2)】  
本県32.7%, 全国26.1% 差+6.6

### 課題が見られた内容

- 1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すこと。  
【関連問題 A1(2)】  
本県67.9%, 全国69.9% 差-2.0
- 小数と整数の加法の計算をすること。  
【関連問題 A2(2)】  
本県78.6%, 全国79.7% 差-1.1
- 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断すること。  
【関連問題 B3(1)】  
本県64.9%, 全国67.9% 差-3.0
- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断理由を記述すること。  
【関連問題 B5(2)】  
本県11.0%, 全国13.2% 差-2.2

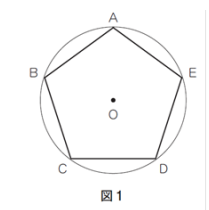
## 小学校算数

### 成果が見られた問題 1

○ 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成されていることを理解すること。

●A6 (本県81.5%, 全国75.5%, +6.0)

点Oを中心とする円を使って、図1のような正五角形をかきます。図1の点A, 点B, 点C, 点D, 点Eは正五角形の頂点です。



まず、図2のように半径をかき、円周と交わった点を点Aとします。次に、図3のように半径をかいて点Bの位置を決めます。このとき、角アの大きさは何度になればよいですか。

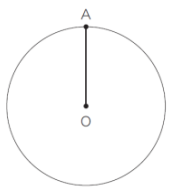


図2

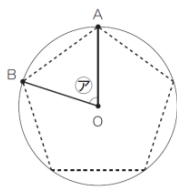


図3

**【県学力調査との関連】**

○平成28年度第5学年 9(2) 正答率71.9%  
 ・ 三角形の3つの角の大きさの和が180°であることを基にして、五角形の内角の和を求めるう式を考えることができること。

### 成果が見られた問題 2

○ 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めること。

●A9(2) (本県68.4%, 全国62.8%, +5.6)

家でイヌやネコを飼っているかどうかを、13人に聞いて、下のように記録しました。

飼っている動物調べ

出席番号	イヌ	ネコ
1	○	×
2	×	×
3	○	×
4	○	○
5	○	×
6	×	×
7	○	×
8	×	×
9	○	○
10	×	○
11	○	×
12	×	×
13	○	×

○…飼っている  
 ×…飼っていない

(2) 左の記録を下の表にまとめます。オに当てはまる数を書きましょう。

飼っている動物調べ (人)

		ネコ		合計
		○	×	
イヌ	○	ア	イ	
	×	ウ	エ	
合計				オ

○…飼っている  
 ×…飼っていない

**【県学力調査との関連】**

○平成27年度第5学年 9(1) 正答率87.8%  
 ・ 二つの観点から分類整した表を読み取り、条件に沿った報告文を書こうとすること。

## 小学校算数

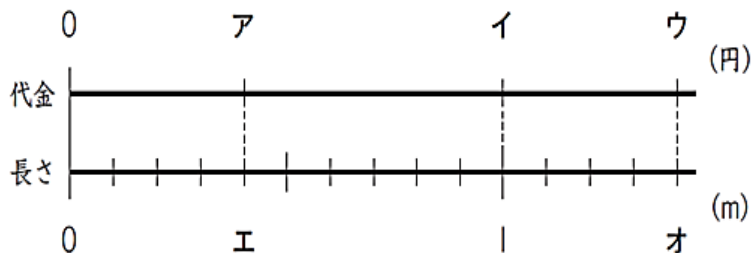
### 課題

○ 1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができること。

### 課題となった問題

● A1(2) (本県67.9%, 全国69.9%, -2.0)

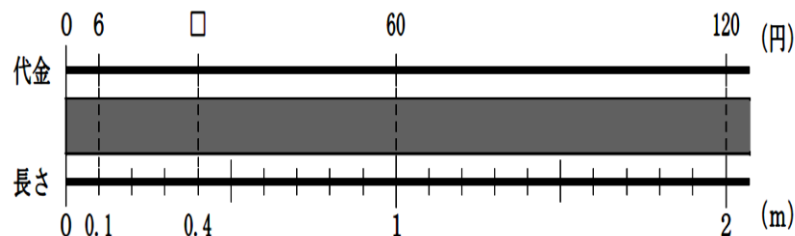
1mあたりの値段が60円のリボンを何mか買います。そのときの代金を求めます。  
 リボンを0.4m買います。このときの代金を□円として、リボンの長さとの関係を下の図に表します。  
 「1mあたりの値段の60」、「買う長さの0.4」、「0.4m分の代金の□」のそれぞれの場所は、下の図のどこになりますか。  
 アからオまでの中から、あてはまるものを1つずつ選んで、その記号を書きましょう。



【誤答例】○60の場所はイと理解しているが、買う長さとの関係が理解できていない。(12.8%)

### 指導のポイント

- 誤答について
  - が代金を表していることを捉えることはできているが、買うリボンの長さとの関係を対応させることはできていないことに課題がある。
- 指導について
  - ・下のように、テープの図と数直線を合わせた図を用いて、基準量に当たる1に対応する数量が60であることを、さらに、2m当たりの代金が120円、0.1m当たりの代金が6円であることを確認した上で、0.4と□が対応することについて説明し合う活動を行う。
  - ・また、数直線と関連付けて、 $60 \times 0.4$ の式を立てた際に、「60を1とみたとき、0.4に当たる大きさを求める計算です。」などと言葉で表し、乗法の意味を説明する活動を取り入れる。





## 小学校算数

### 課題

○ 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述すること。

【誤答例】 ○ 「最大の満月の直径」は、1と理解しているが、理由を説明することができていない。(34.1%)

### 課題となった問題

- B5(2) (本県11.0%, 全国13.2%, -2.2)  
月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。1円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ下のとおりです。

硬貨の種類とその直径

1円玉	100円玉	500円玉
		
20mm	22.6mm	26.5mm

「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最小の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。

下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

- 1 100円玉
- 2 500円玉

### 指導のポイント

- 誤答について  
基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断することはできているが、その判断の理由を言葉や式を用いて記述することに課題がある。
- 指導について
  - ・1円玉の直径が基準量であることを捉え、「最小の満月の直径」を基にして14%長くなっている「最大の満月の直径」が比較量であることを確認する。
  - ・100円玉と500円玉のどちらが比較量に近いかを判断する際には、「基準量の○%」と「基準量の○%増加・減少」の違いを図で表現し比較する活動を行う。
  - ・選んだ硬貨の直径の方が近いと判断した理由を、数量の関係を表す図や基準量・比較量・割合の関係を基に説明する活動を行う。
  - ・基準量から14%長くなっている比較量を求める際には、114%を捉えることができていない $20 \times 1.4$ や $0 \times 0.14$ のような式を提示し、「 $\times 1.4$ 」や「 $\times 0.14$ 」の意味を問い直す活動を必要に応じて行う。

## 児童質問紙

もっと簡単に解く方法がないか考えた児童の割合は、全国平均を下回っていますが、増加傾向にあります。一方で、公式やきまりのわけを理解しようとした児童の割合は減少し、全国との差が拡大しています。

- 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。  
「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」
  - ・本県68.6%，全国69.9%，差-1.3  
(H27年度より4.8減少し、全国との差は拡大)
- 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。  
「当てはまる」
  - ・本県46.7%，全国49.2%，差-2.5  
(H27年度より1.4増加したが全国との差は拡大)
- 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。  
「当てはまる」
  - ・本県43.4%，全国48.2%，差-4.8  
(H27年度より0.3減少し、全国との差は拡大)

## 学校質問紙

補充的な学習の指導や家庭学習の課題(宿題)の実施状況は、引き続き高い傾向にあります。一方で、実生活における事象との関連を図った授業の実施状況は、改善が必要です。

- 算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。  
「よく行った」
  - ・本県45.2%，全国41.4%，差+3.8  
(H27年度より2.9減少し、全国との差は縮小)
- 算数の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。  
「よく行った」
  - ・本県 8.5%，全国11.5%，差-3.0  
(H27年度より1.2減少し、全国との差は拡大)
- 算数の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか。  
「よく行った」
  - ・本県90.7%，全国88.3%，差+2.4  
(H27年度より2.0増加し、全国との差は拡大)

## Ⅱ－２（６） 今後の指導に当たって

学力調査結果の分析から明らかになった算数科の課題改善のため  
次の点に取り組みましょう。

### 課題となった内容

- 問題場面を的確に捉え、式に表したり、計算の仕方を考えたりすること。
- 問題場面を的確に捉え、数量の関係を図や数直線などに表すこと。
- 平均を求めるために、場面や状況に応じた数理的な処理ができること。
- 適切に判断するために、基準量・比較量・割合の関係を的確に捉え、判断の理由を数学的に表現すること。

### 取組

### 授業の中で

- 日常生活との関連を図つためあてを提示する。
- 言葉や式、図、表、グラフを用いて表現（説明・記述）する活動を位置付ける。
- めあてに沿ったまとめを行い、適用問題を行う。

### 日々の取組の中で

- 授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、その取組を確認する。
- 基礎的・基本的事項を確実に身に付けるため、繰り返し学習する機会を設ける。

### Ⅱ－3 中学校国語

- (1) 成果と課題
- (2) 成果が見られた問題
- (3) 課題が見られたA問題の分析
- (4) 課題が見られたB問題の分析
- (5) 質問紙調査
- (6) 今後の指導に当たって

## 成 果

## 中学校国語

## 課 題

### 成果が見られた内容

- 文脈に即して漢字(規模)を書くこと  
【関連問題 A9－1】  
本県65.6%, 全国62.8% 差+2.8
- 書いた文章を読み返し, 語句の使い方を工夫して書くこと  
【関連問題 A3－1】  
本県86.7%, 全国86.0% 差+0.7
- 語句の意味を理解し, 文脈の中で適切に使うこと  
【関連問題 A9三】
  - ・えりをただして話を聞く  
本県79.6%, 全国76.9% 差+2.7
  - ・先生もご利用になる(敬語)  
本県87.7%, 全国85.7% 差+2.0
- 楷書と行書の違いを理解すること  
【関連問題 A9六1】  
本県57.4%, 全国49.6% 差+7.8

### 課題が見られた内容

- 相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと  
【関連問題 A7－1】  
本県49.3%, 全国54.0% 差-4.7
- 文章の要旨を捉えること  
【関連問題 A4－1】  
本県77.6%, 全国81.0% 差-3.4
- 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み, 内容を理解すること  
【関連問題 A6二】  
本県58.0%, 全国60.1% 差-2.1
- 話の論理的な構成や展開に注意して聞くこと  
【関連問題 B2二】  
本県71.6%, 全国74.2% 差-2.6
- 目的に応じて必要な情報を読み取ること  
【関連問題 B3二】  
本県76.6%, 全国78.7% 差-2.1

## 中学校国語

### 成果が見られた問題 1

○ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。

- A9三ア (本県79.6%, 全国76.9%, +2.7)
- イ (本県63.3%, 全国61.4%, +1.9)
- ウ (本県87.7%, 全国85.7%, +2.0)

一 次のアからウの文では、最も適切な言葉を、それぞれ( )の1から4までの中から一つ選びなさい。

ア (1) 所で (2) えり (3) むね (4) わきを正して話を聞く。

イ よい結果を早く出したときは、(1) 一時が万事論より証拠 (2) 急がば回れ (3) 光陰矢のごとし (4) 光陰矢のごとし

ウ 先生もこの書店をよく(1) ご利用する (2) ご利用していただく (3) ご利用いたす (4) ご利用になる) のですね。

といわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ。

【県学力調査との関連】

- 平成28年度第2学年 2(1) 正答率90.0%
  - ・「見る」の謙譲語「拝見する」を正しく用いること。
- 平成28年度第1学年 3(1) 正答率47.7%
  - ・前後の文脈から「きびすをかえす」の意味をとらえること。

### 成果が見られた問題 2

○ 楷書と行書の違いを理解すること。

- A9六1 (本県57.4%, 全国49.6%, +7.8)

楷書と行書の違いを理解すること。


1 楷書と比較したときの行書の説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 楷書とは異なり、毛筆で書くことができる書体。

2 楷書とは異なり、筆脈を意識せずに書くことができる書体。

3 楷書よりも点画を崩さずに書くことができる書体。

4 楷書よりも速く書くことができる書体。



六 書写の時間に「和」という字を次のように行書で書きました。これを見て、あとの問いに答えなさい。

【県学力調査との関連】

- 平成28年度第1学年 2(5) 正答率56.8%
  - ・「花」を行書で書く際の筆順の変化、点画の変化を理解すること。

中学校国語

課題

- 相手に分かりやすいように語句を選択して話すこと  
【誤答例】・求めているものが、小説以外の本であることを言い表すことができない。(38.8%)

課題となった問題

●A7-(本県49.3%, 全国54.0%, -4.7)

もう一冊は

を取り上げたいと思っています。

森さんの線部①の発言のすぐあとに、先生から傍線部②の発言を引き出すためには、森さんは傍線部①でどのように発言するとよいですか。次の□に当てはまる言葉を十字以内で書きなさい。

森 私は何かに打ち込みながら成長していく人が出てくる本を二冊紹介したいと考えています。一冊はサッカーに打ち込む中学生を主人公とした小説を選びました。①もう一冊はそれ以外を取り上げたいと思っています。

先生 もう一冊の本もスポーツに関係する本にしますか。

森 スポーツの本でも、スポーツではない本でもよいと考えています。

先生 それならば、野球に打ち込む中学生を主人公とした小説がありますよ。

森 いえ、そうではないのです。一冊は小説を取り上げたので、もう一冊の本は違うものにしたのです。

先生 そうだったのですか。②では、実際にあった出来事を書いた本はどうですか。

7 森さんは、国語の授業で本を紹介するために学校図書館で先生に相談しています。次は、森さんと先生の会話です。

指導のポイント

- 誤答について
  - ・傍線の前の会話に着目して、発言の内容を考える。傍線①の指示語「それ」が指している内容を捉える。傍線②の前で、先生が「そうだったのですね。」と森さんの相談内容を理解したことが分かるので、その直前の森さんの会話の内容に着目する。
- 指導について
  - ① グループごとにテーマを決め、どのような言葉で質問すればよいのかについて考える。
  - ② グループ内で立場（インタビュアー、回答者、評価者）を決めてインタビューをする。評価者はインタビューの様子を動画で記録しながら、「インタビューは相手から引き出したいことが分かるように質問しているか」という観点で評価をする。
  - ③ グループごとに記録した動画を見ながら振り返り、それぞれの立場でよかった点や修正が必要な点について意見を述べ合う。  
(「H29 授業アイデア例」P3より)

中学校国語

課題となった問題

●B2二(本県71.6%, 全国74.2%, -2.6)

- 1 実演を見るとききのポイントを直前に示す方が、実演の効果が高くなること。
- 2 実演を見るとききのポイントを実演後に何度も示す方が、実演の効果が高くなること。
- 3 実演を見るとききのポイントを聞き手に予想させる方が、実演の効果が高くなること。
- 4 実演を見るとききのポイントを示さない方が、実演の効果が高くなること。

【意見】  
三回目の実演のときは、どこに気を付けて見ればよいのかが分かりやすかったので、二回目の実演のときも同じようにするとよいと思います

【スピーチ】  
ではやってみます。〈実演〉二回目  
(中略)  
では、ひざの動きに注意してみてください。〈実演〉三回目

2 石井さんは、けん玉についてスピーチします。次は、石井さんがスピーチするために読んだ【本の一部】と、リハーサルで実際に話した【スピーチ】、リハーサル後に友達からもらった【意見】です。

課題

- 話の論理的な構成や展開などに注意して聞くことができること  
【誤答例】・意見の内容を捉えていない。(8.5%)  
「どこに気を付けて見ればよいのか」  
・スピーチの〈実演〉3回目と〈実演〉2回目を比較し、相違点に気付いていない。(12.8%)

指導のポイント

- 誤答について  
意見の内容を基に、スピーチの〈実演〉3回目の直前の「ひざの動きに注意して見て」と〈実演〉2回目の直前の文とを比較して考えることに課題がある。
- 指導について  
互いの意見をよりよくする意識をもたせる。
  - ・「話すこと・聞くこと」の例  
スピーチのリハーサル場を設定し、話の論理的な構成や展開など定めた観点に加え、実際に話を聞きながら気付いた点について、話し手に質問や助言をする。
  - ・「書くこと」の例  
書いた文章を、観点に沿って互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりする。
  - ・「読むこと」の例  
文章構成や、文章の中の時間的・空間的な場面の展開に着目して文章全体を読み、自分の考えをもつ。



## 生徒質問紙

話の組み立てを工夫して発表したり、考えの理由が分かるように書いたりする生徒は全国を下回りましたが、増加傾向です。一方、文章で書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒は全国を下回っています。

- 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

- 本県70.7%，全国72.3%，差－1.6  
(H27より6.6減少し，全国との差は拡大)

- 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。

「当てはまる」

- 本県14.5%，全国19.4%，差－4.9  
(H27より3.8増加したが，全国との差は拡大)

- 国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。

「当てはまる」

- 本県18.1%，全国22.7%，差－3.7  
(H27より0.9増加し，全国との差は縮小)

## 学校質問紙

様々な文章を読む習慣を付ける授業や、基礎的・基本的な事項を定着させる授業は、全国平均を下回っていますが、増加傾向です。一方、生徒に宿題を与えた学校は、全国平均を大きく下回っています。

- 生徒に対して、前年度までに、国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか。

「よく行った」

- 本県39.8%，全国53.1%，差－13.3  
(H27より1.3増加したが，全国との差は拡大)

- 国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県24.1%，全国28.3%，差－4.2  
(H27より4.0増加し，全国との差は縮小)

- 国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか。

「よく行った」

- 本県50.6%，全国60.2%，差－9.6  
(H27より0.3増加し，全国との差は縮小)

## Ⅱ－3（6） 今後の指導に当たって

学力調査結果の分析から明らかになった中学校国語科の課題改善のため  
次の点に取り組みましょう。

### 課題が見られた内容

- 目的を持って、本を読んでいないので、要旨を捉えたり、必要な情報を読み取ったりすること。
- 国語の指導として、宿題を与えていないこと。
- 相手に分かりやすいように、語句を選んだり、構成や展開を工夫したり、考えの理由を明確にしたりすること。

### 取組

### 授業の中で

- 【まとめ】めあてや課題と照らして行い、課題解決の方法や学習内容をまとめる。ノートに蓄積し、その後の「学習の手引き」として活用させる。
- 【振り返り】学習の成果や課題とその要因、課題の改善の方法等を共有させる。課題を自覚し、家庭学習や次の授業につなげる。

### 日々の取組の中で

- 授業内容に応じた家庭学習の課題を出し、その取組を確認する。
- 語彙の量と質を充実するために、学習した語彙を各領域の授業や言語活動で活用させる。
- 読書量を増やすために、学校図書館を授業や朝読書などで計画的に活用する。

### Ⅱ－４ 中学校数学

- (1) 成果と課題
- (2) 成果が見られた問題
- (3) 課題が見られたA問題の分析
- (4) 課題が見られたB問題の分析
- (5) 質問紙調査
- (6) 今後の指導に当たって

# Ⅱ－４（１）成果と課題

## 成果

## 中学校数学

## 課題

### 成果が見られた内容

○空間における直線と平面の平行について理解すること。

【関連問題 A5(1)】

本県70.0%, 全国67.0% 差+3.0

○与えられた一次関数の表において, 変化の割合の意味を理解すること。

【関連問題 A11(2)】

本県58.1%, 全国56.0% 差+2.1

○事象を一次関数とみなし, 問題解決の方法を数学的に説明すること。

【関連問題 B3(2)】

本県21.0%, 全国18.4% 差+2.6

○資料の傾向を的確に捉え, 判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

【関連問題 B5(3)】

本県19.8%, 全国17.6% 差+2.2

### 課題が見られた内容

○2つの負の数の和は負の数になることを理解すること。

【関連問題 A1(2)】

本県65.0%, 全国69.3% 差-4.3

○円柱の体積を求めること。

【関連問題 A5(4)】

本県46.6%, 全国51.8% 差-5.2

○与えられた度数分布表について, ある階級の相対度数を求めること。

【関連問題 A14(2)】

本県38.5%, 全国45.5% 差-7.0

○2つの角の大きさが等しいことを, 三角形の合同を利用して証明すること。

【関連問題 B4(1)】

本県37.5%, 全国44.1% 差-6.6

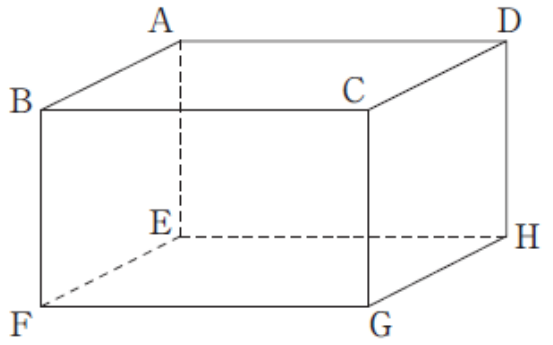
## 中学校数学

### 成果が見られた問題 1

○ 空間における直線と平面の平行について理解すること。

●A5(1)(本県70.0%, 全国67.0%, +3.0)

次の図の直方体には、辺CGに平行な面がいくつかあります。そのうちの直方体の面を1つ選んで書きなさい。



#### 【県学力調査との関連】

○平成28年度第2学年 2(5) 正答率47.7%  
 ・空間における直線と平面の位置関係を理解していること。

### 成果が見られた問題 2

○ 与えられた一次関数の表において、変化の割合の割合の意味を理解すること。

●A11(2)(本県58.1%, 全国56.0%, +2.1)

下のアからエまでの表は、 $y$ が $x$ の一次関数である関係を表しています。この中から、変化の割合が2であるものを1つ選びなさい。

ア

$x$	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
$y$	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

イ

$x$	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
$y$	...	7	5	3	1	-1	-3	-5	...

ウ

$x$	...	-3	-2	-1	0	1	2	3	...
$y$	...	-5	-3	-1	1	3	5	7	...

エ

$x$	...	-6	-4	-2	0	2	4	6	...
$y$	...	-2	-1	0	1	2	3	4	...

#### 【県学力調査との関連】

○平成28年度第2学年 2(1) 正答率33.0%  
 ・グラフから一次関数の変域が理解できること。

# Ⅱ - 4 (3) 課題が見られたA問題の分析

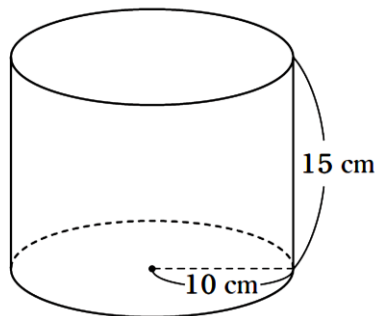
## 中学校数学

課題 ○ 円柱の体積を求めることができること。

### 課題となった問題

● A5(4) (本県46.6%, 全国51.8%, -5.2)

底面の半径が10cm, 高さが15cmの円柱の体積を求めなさい。ただし, 円周率は $\pi$ とします。



#### 【誤答例】

- $300\pi$  (cm<sup>3</sup>)と解答している。 ( 6.0%)
- $150\pi$  (cm<sup>3</sup>)と解答している。 ( 8.5%)
- $500\pi$  (cm<sup>3</sup>)と解答している。 ( 1.5%)
- $100\pi$  (cm<sup>3</sup>)と解答している。 ( 0.4%)
- 上記以外の解答 (25.3%)
- 無解答 (11.7%)

### 指導のポイント

- 誤答について  
【誤答例】の上記以外の解答の中には, 「1500」という解答があり, 底面の面積を(半径)×(半径)で求めたと考えられる。公式の理解に課題がある。
- 指導について
  - ・柱体の体積を求める公式について, 底面の図形が高さの分だけ平行に移動することによって構成される立体とみることと関連させて理解を深める場面を設定し, 角柱や円柱の体積を求めることができるように指導することが大切である。
  - ・授業を行う際には, (底面積)×(高さ)という柱体の体積を求める公式を見直し, この円柱を, 半径10cmの円を15cmだけ一定の方向に平行に移動することによって構成される立体とみることができることを確認する場面を設定する。
  - ・その上で, 円柱の模型について実測した底面の半径や高さから見積もった体積と, 模型に満たした水の容量とを比較する場面を設定するなどして, 数量の感覚を豊かにする。

## 中学校数学

### 課題

○ 2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明することができること。

### 課題となった問題

● B4(1) (本県37.5%, 全国44.1%, -6.6)

下の図1のように、正三角形ABCの辺BC, CA上にBD=CEとなる点D, Eをそれぞれとります。また、線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし、点Dは点B, Cと、点Eは点C, Aと重ならないものとします。

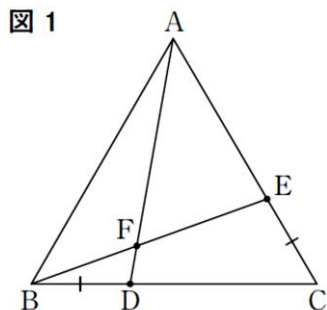


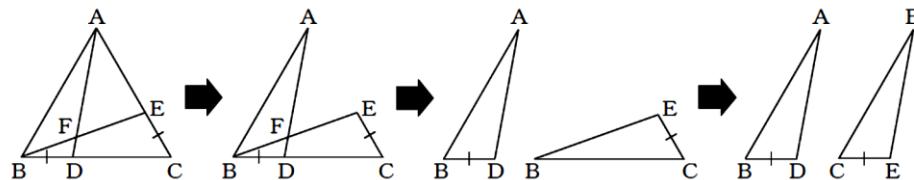
図1において $\triangle ABD \cong \triangle BCE$ を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$ であることが証明できます。  
 $\angle BAD = \angle CBE$ となることの証明を完成させなさい。

### 【誤答例】

- 仮定として $\angle BAD = \angle CBE$ を用いている。(4.1%)
- 無解答(23.4%)

### 指導のポイント

- 誤答について  
 無答率が23.4%ということから、事柄が成り立つ理由を、筋道を立てて考え、証明することに課題がある。
- 指導について
  - ・結論を導くためには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見だし、事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考えたりする活動を取り入れ、証明できるように指導する。
  - ・授業を行う際には、 $\angle BAD = \angle CBE$ を導くために $\triangle ABD \cong \triangle BCE$ を示せばよいことを明らかにし、 $\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ で対応する辺の長さや角の大きさについてわかることを整理したり、合同を示すために必要な関係を見いだしたりするなどして証明ができるようにする。
  - ・その際、 $\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ を抜き出した図を基に、対応する辺や角を確認する場面を設定する。



## 生徒質問紙

記述式問題の解答を最後まで書こうとした生徒の割合が全国を下回っています。また、もっと簡単に解く方法を考えたり、公式やきまりの根拠を理解したりすることも、全国を下回っていますが改善の傾向にあります。

- 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」

・本県53.7%，全国55.4%，差－1.7  
(H27年度より2.8増加したが全国との差は拡大)

- 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。

「当てはまる」

・本県33.5%，全国37.3%，差－3.8  
(H27年度より3.2増加したが全国との差は拡大)

- 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。

「当てはまる」

・本県28.1%，全国34.0%，差－5.9  
(H27年度より1.5増加し、全国との差は縮小)

## 学校質問紙

補充的な学習の指導や実生活における事象との関連を図った授業の実施状況は、改善の傾向にあります。一方で、家庭学習の課題(宿題)については、依然としてを全国を下回り、改善が必要です。

- 数学の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。

「よく行った」

・本県35.5%，全国32.7%，差＋2.8  
(H27年度より1.8減少し、全国との差は縮小)

- 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。

「よく行った」

・本県11.4%，全国10.6%，差＋0.8  
(H27年度より1.9増加し、全国との差は拡大)

- 数学の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか。

「よく行った」

・本県49.4%，全国56.8%，差－7.4  
(H27年度より0.3減少し、全国との差は拡大)



## Ⅱ－４（６） 今後の指導に当たって

学力調査結果の分析から明らかになった数学科の課題改善のため  
次の点に取り組みましょう。

### 課題となった内容

- 2つの負の数の和は負の数になることを理解すること。
- 円柱の体積を求めること。
- 与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めること。
- 2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明すること。

### 取組

### 授業の中で

- 日常生活との関連を図つためあてを提示する。
- 言葉や式、図、表、グラフを用いて表現(説明・記述)する活動を位置付ける。
- めあてに沿ったまとめを行い、適用問題を行う。

### 日々の取組の中で

- 授業内容に応じた課題を家庭学習で出し、その取組を確認すること。
- 基礎的・基本的事項を確実に身に付けるため、繰り返し学習する機会を設ける。

# Ⅲ 質問紙調査結果

Ⅲ－１ 児童・生徒質問紙調査結果①②

Ⅲ－２ これまでの調査結果の分析①②③

Ⅲ－３ 改善に向けて

# Ⅲ－１ 児童・生徒質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
等 関 心	1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	71.9	69.8	2.1	64.1	64.3	- 0.2
(言語活動・学習状況) 学習状況	2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.7	52.2	-1.5	44.9	50.5	- 5.6
	3. 5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	74.2	75.1	-0.9	69.3	71.3	- 2.0
	4. 5年生(中学2年生)までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか	90.7	88.7	2.0	85.0	80.3	4.7
	5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	76.3	76.2	0.1	65.5	66.1	- 0.6
	6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む) ※1時間以上の合計	63.6	57.3	6.3	73.6	69.4	4.2
学習時間等	7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	61.8	64.5	-2.7	46.6	51.5	- 4.9
	8. 家で、学校の授業の予習をしていますか	36.9	41.0	-4.1	23.4	31.7	- 8.3
	9. 家で、学校の授業の復習をしていますか	56.0	53.8	2.2	50.8	50.5	0.3

# Ⅲ－１ 児童・生徒質問紙調査結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

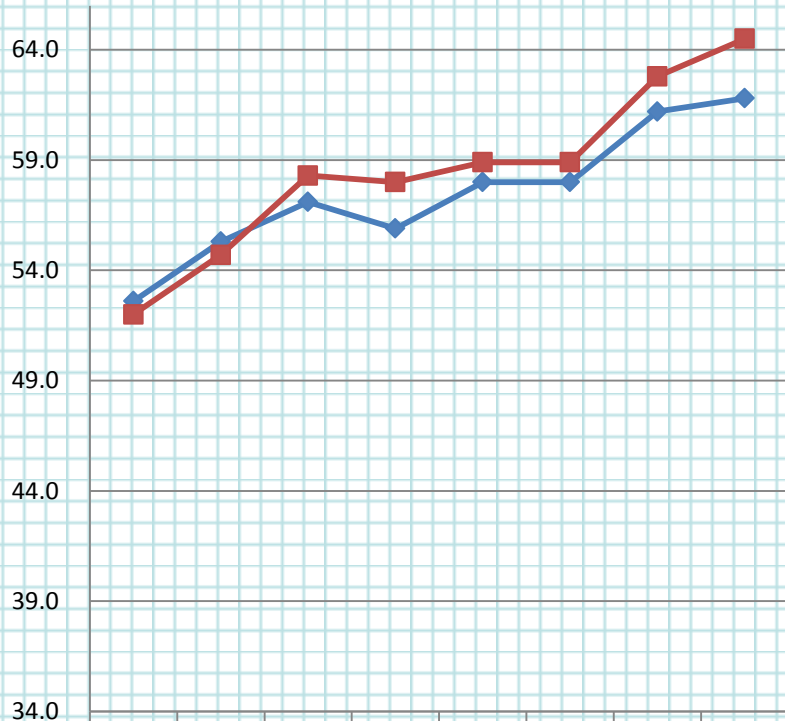
単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
学校生活	10.学校に行くのは楽しいと思いますか	88.7	86.3	2.4	84.3	80.9	3.4
	11.学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	49.8	50.3	- 0.5	36.6	40.5	- 3.9
習生活	12.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（2時間より少ない+持っていない）	89.2	87.9	1.3	74.0	67.7	6.3
地域	13.今住んでいる地域の行事に参加していますか	69.4	62.6	6.8	40.1	42.1	- 2.0
社会	14.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか	83.9	84.6	- 0.7	87.4	86.7	0.7
将来	15.将来の夢や目標を持っていますか	86.2	85.9	0.3	70.0	70.5	- 0.5
	16.将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思いますか	31.0	33.6	- 2.6	30.2	32.9	- 2.7
意自尊	17.難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	75.9	77.4	- 1.5	66.5	71.0	- 4.5
意規範	18.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.2	96.1	0.1	94.0	92.8	1.2

# Ⅲ－２ これまでの調査結果の分析①

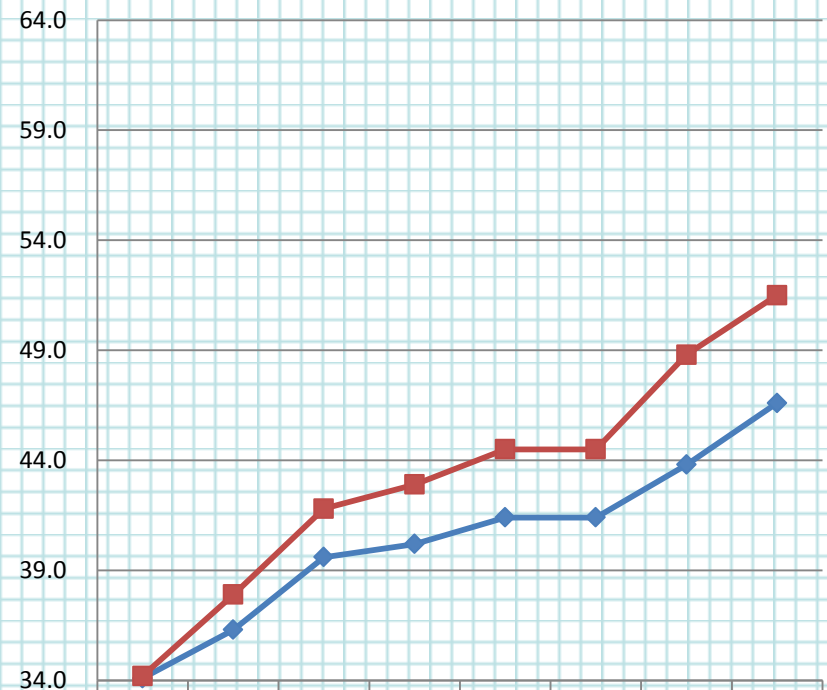
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか

している+どちらかといえばしている



◆小(熊本県)	52.6	55.3	57.1	55.9	58.0	58.0	61.2	61.8
■小(全国)	52.0	54.7	58.3	58.0	58.9	58.9	62.8	64.5

小学校 (児童質問紙調査)



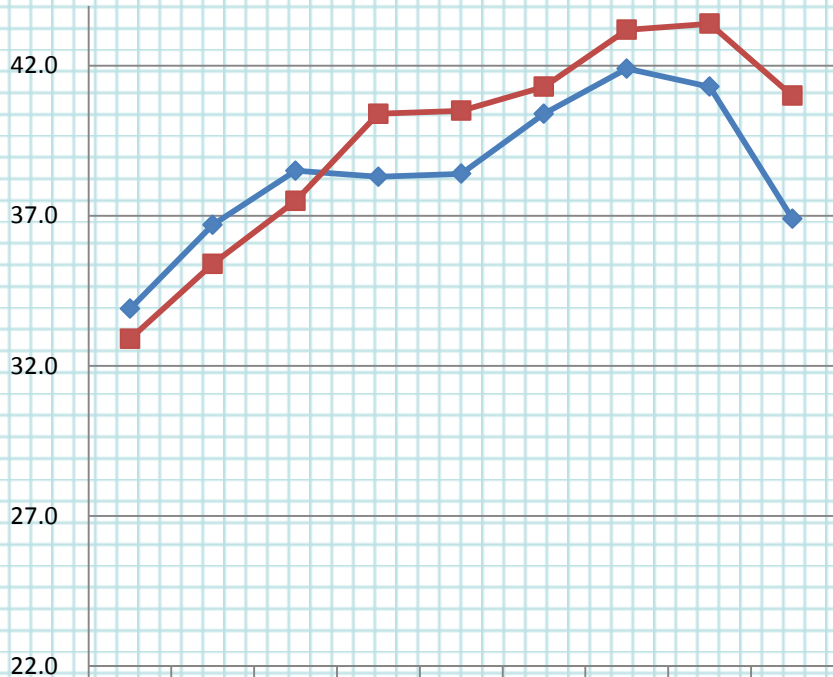
◆中(熊本県)	34.1	36.3	39.6	40.2	41.4	41.4	43.8	46.6
■中(全国)	34.2	37.9	41.8	42.9	44.5	44.5	48.8	51.5

中学校 (生徒質問紙調査)

# Ⅲ－２ これまでの調査結果の分析②

家で、学校の授業の予習をしていますか

している+どちらかといえばしている



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H29
小(熊本県)	33.9	36.7	38.5	38.3	38.4	40.4	41.9	41.3	36.9
小(全国)	32.9	35.4	37.5	40.4	40.5	41.3	43.2	43.4	41.0

小学校 (児童質問紙調査)



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H29
中(熊本県)	27.6	24.6	23.4	23.7	22.4	29.3	30.5	29.9	23.4
中(全国)	29.5	28.4	29.5	30.9	29.3	33.5	34.2	35.3	31.7

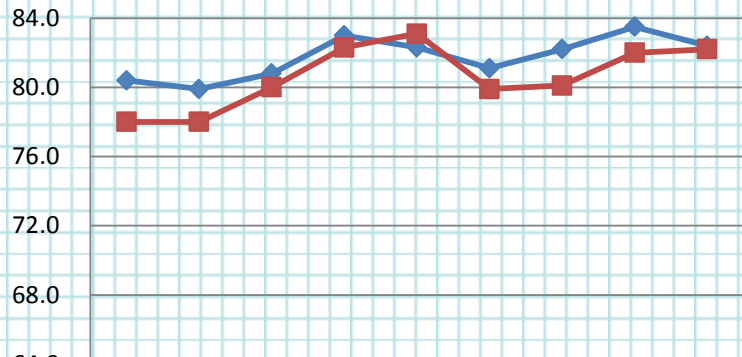
中学校 (生徒質問紙調査)

# Ⅲ－２ これまでの調査結果の分析③

国語、算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

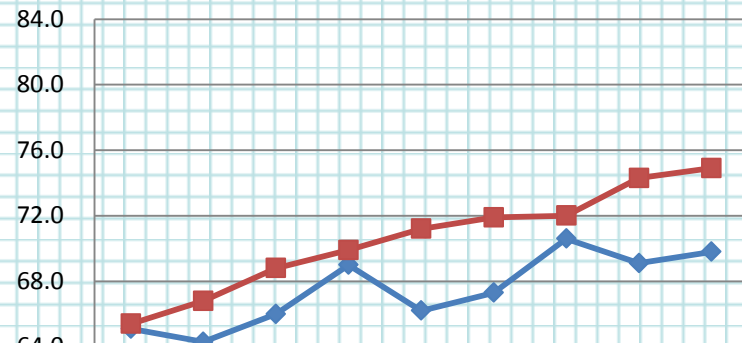
「当てはまる」+「どちらかといえば当てはまる」

国語



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H29
小(熊本県)	80.4	79.9	80.8	83.0	82.3	81.1	82.2	83.5	82.4
小(全国)	78.0	78.0	80.0	82.3	83.1	79.9	80.1	82.0	82.2

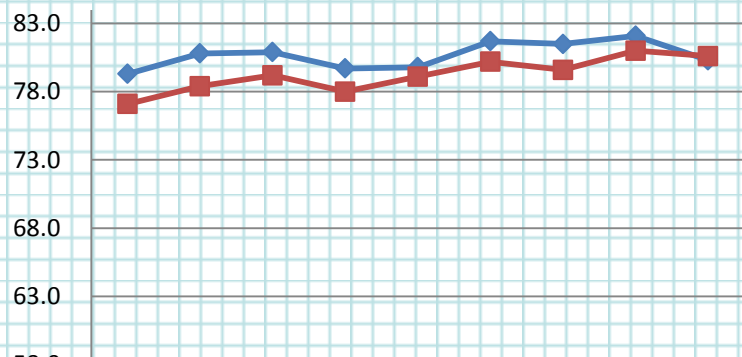
国語



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H29
中(熊本県)	65.1	64.3	66	69	66.2	67.3	70.6	69.1	69.8
中(全国)	65.4	66.8	68.8	69.9	71.2	71.9	72	74.3	74.9

## 小学校 (児童質問紙調査)

算数



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H29
小(熊本県)	79.3	80.8	80.9	79.7	79.8	81.7	81.5	82.1	80.3
小(全国)	77.1	78.4	79.2	78.0	79.1	80.2	79.6	81.0	80.6

## 中学校 (生徒質問紙調査)

数学



	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H29
中(熊本県)	61.4	62.5	61.3	59.9	60.2	68.2	68.4	66.1	62.7
中(全国)	63.6	65.5	64.9	65.7	64.9	70.5	71.5	71.6	69.4

### 児童・生徒質問紙調査から

- 授業で扱うノートに学習目標（めあて・ねらい）やまとめを書くことはよくできています。今後は、授業の最後に学習内容を振り返る活動を設定しましょう。
- 話し合う場面や自分の考えを発表する場面では、自分の考えがうまく相手に伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発言や発表を行うことができるようにしましょう。
- これまでにも、学校の授業の復習を中心として、家庭学習に取り組んでいます。今後は、「家で計画を立てて勉強する」「学校の授業の予習をする」ことなど、発達段階に応じた主体的な学びに向かう働きかけをしましょう。
- 「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する」といった意欲を高めるため、すべての教育活動において、「認め、ほめ、励まし、伸ばす」教育行動指標を踏まえた教育の実現を目指しましょう。
- 「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい」など、子供たちの中で国際的に活躍しようとする意欲を育むため、異文化交流活動等を設定しましょう。



# Ⅲ 質問紙調査結果

Ⅲ－４ 学校質問紙調査結果①②

Ⅲ－５ 調査結果の分析①②

Ⅲ－６ 改善に向けて

# Ⅲ－４ 学校質問紙調査結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
向学 上力	1. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度に、図書館資料を活用した授業を計画的に行いましたか	46.7	42.6	4.1	12.6	11.4	1.2
	2. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	96.3	95.4	0.9	95.8	94.3	1.5
指導 方法	3. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか	98.9	97.4	1.5	97.6	91.2	6.4
	4. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童（生徒）一人一人のよい点や可能性を見付け、児童（生徒）に伝えるなど積極的に評価しましたか	98.0	97.4	0.6	95.1	95.5	-0.4
言語 活動	5. 調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	71.8	71.7	0.1	61.4	72.9	-11.5
	6. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	92.9	95.5	-2.6	94.6	93.9	0.7
	7. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	82.2	82.3	-0.1	73.5	75.1	-1.6
	8. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか	87.6	91.2	-3.6	81.4	85.5	-4.1
	9. 調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか	94.6	94.7	-0.1	88.6	92.1	-3.5

# Ⅲ－４ 学校質問紙調査結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

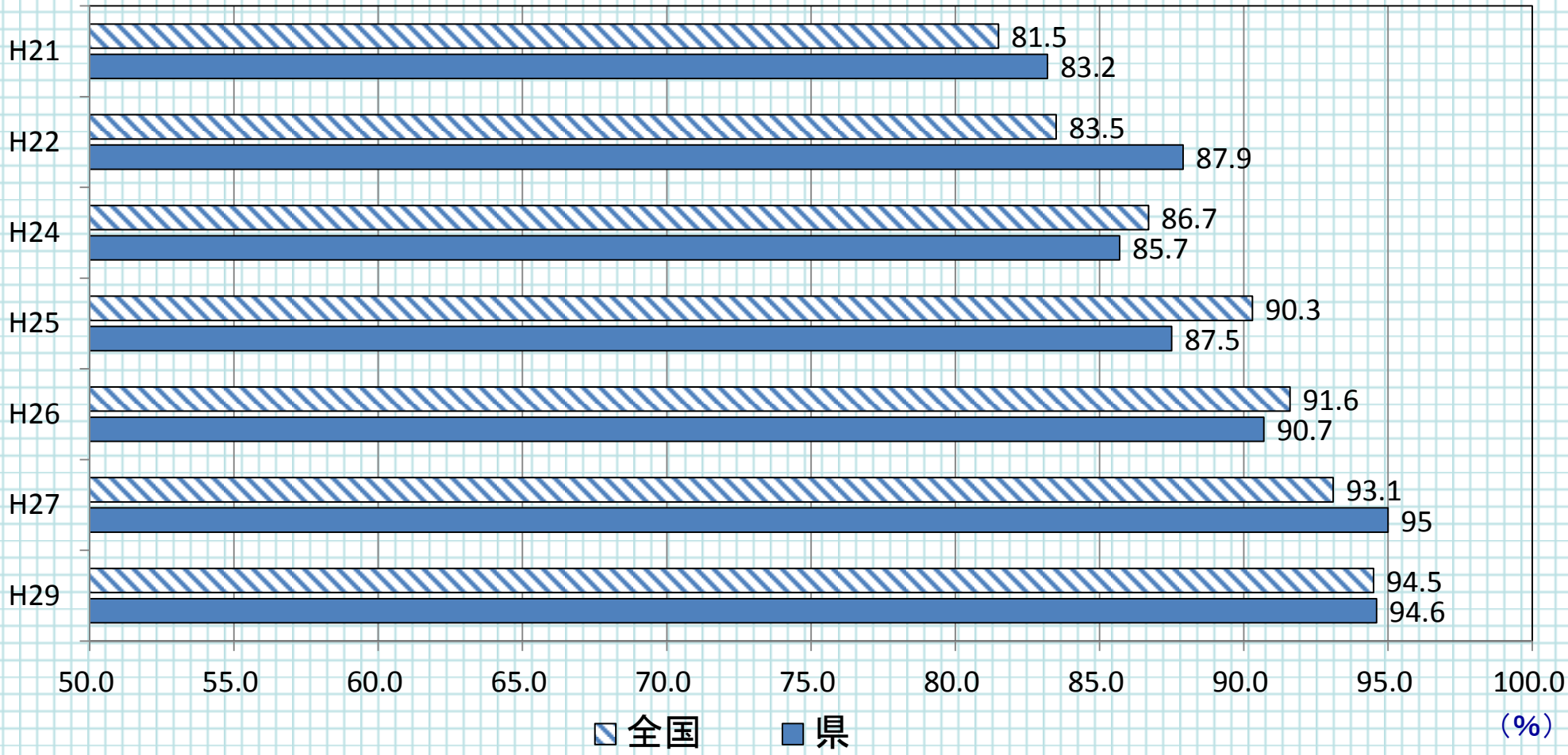
単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		県	全国	差	県	全国	差
援 特 教 別 育 支	10. 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか	94.6	91.3	3.3	97.5	90.9	6.6
導 個 別 指	11. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか	40.7	35.2	5.5	40.9	27.3	13.6
家 庭 学 習	12. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか(国語/算数・数学共通)	80.2	83.1	-2.9	68.6	69.8	-1.2
	13. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(国語/算数・数学共通)	82.7	89.6	-6.9	84.3	82.2	2.1
調 査 等 の 活 用	14. 平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか ※熊本地震のため中止となった学校を含む	92.0	96.6	-4.6	92.8	94.4	-1.6
	15. 平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか(学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む) ※熊本地震のため中止となった学校を含む	81.4	90.8	-9.4	68.6	86.8	-18.2
	16. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	95.4	93.5	1.9	95.2	90.1	5.1
職 員 研 修	17. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	97.2	95.6	1.6	97.0	90.0	7.0
	18. 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか(年9回以上)	76.6	53.4	23.2	47.0	37.0	10.0

# Ⅲ－5 調査結果の分析①－1

【小学校】「校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか」

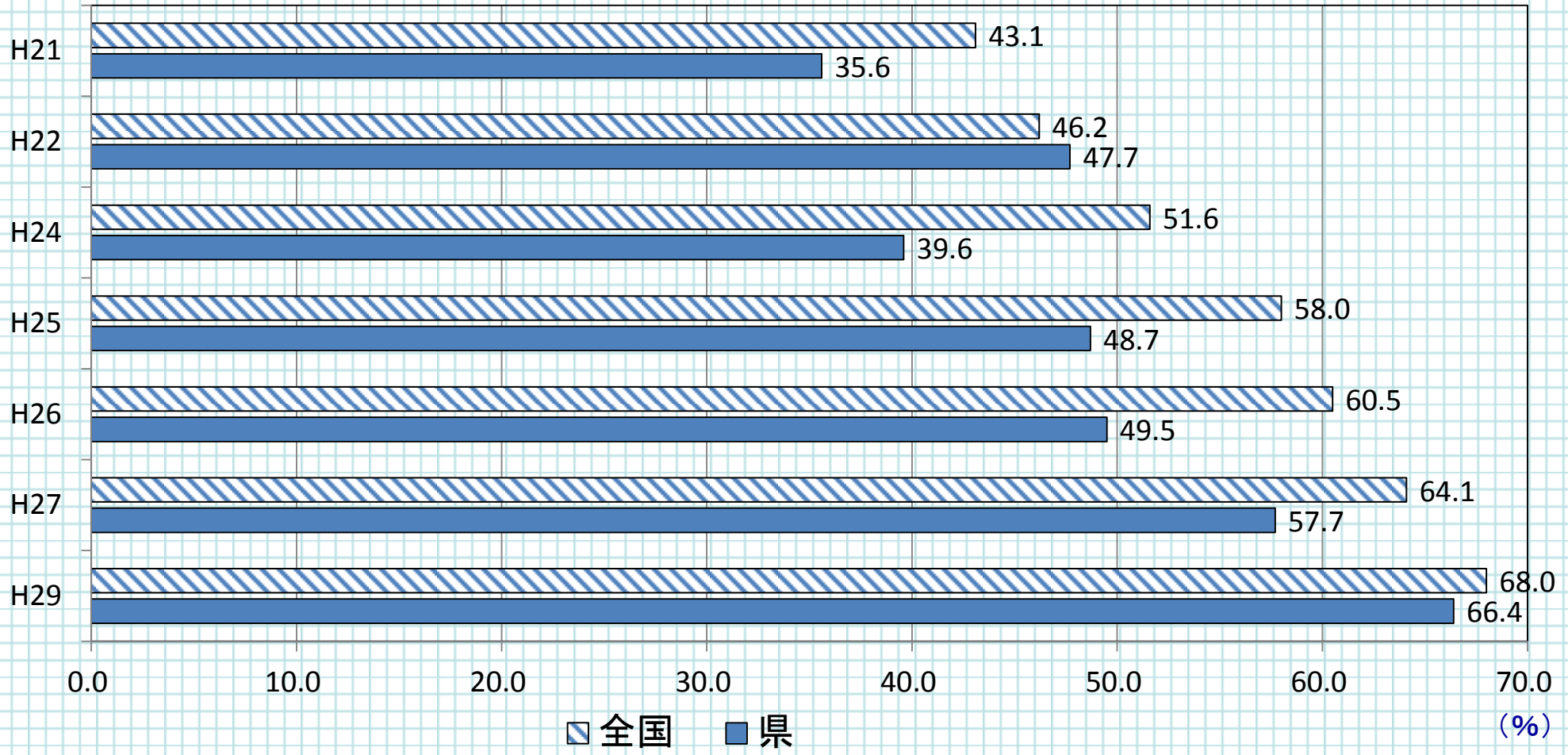
数値は、選択肢「ほぼ毎日」「週に2～3回程度」の肯定的評価の合計を示す。



# Ⅲ－5 調査結果の分析①－2

【小学校】「校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか」

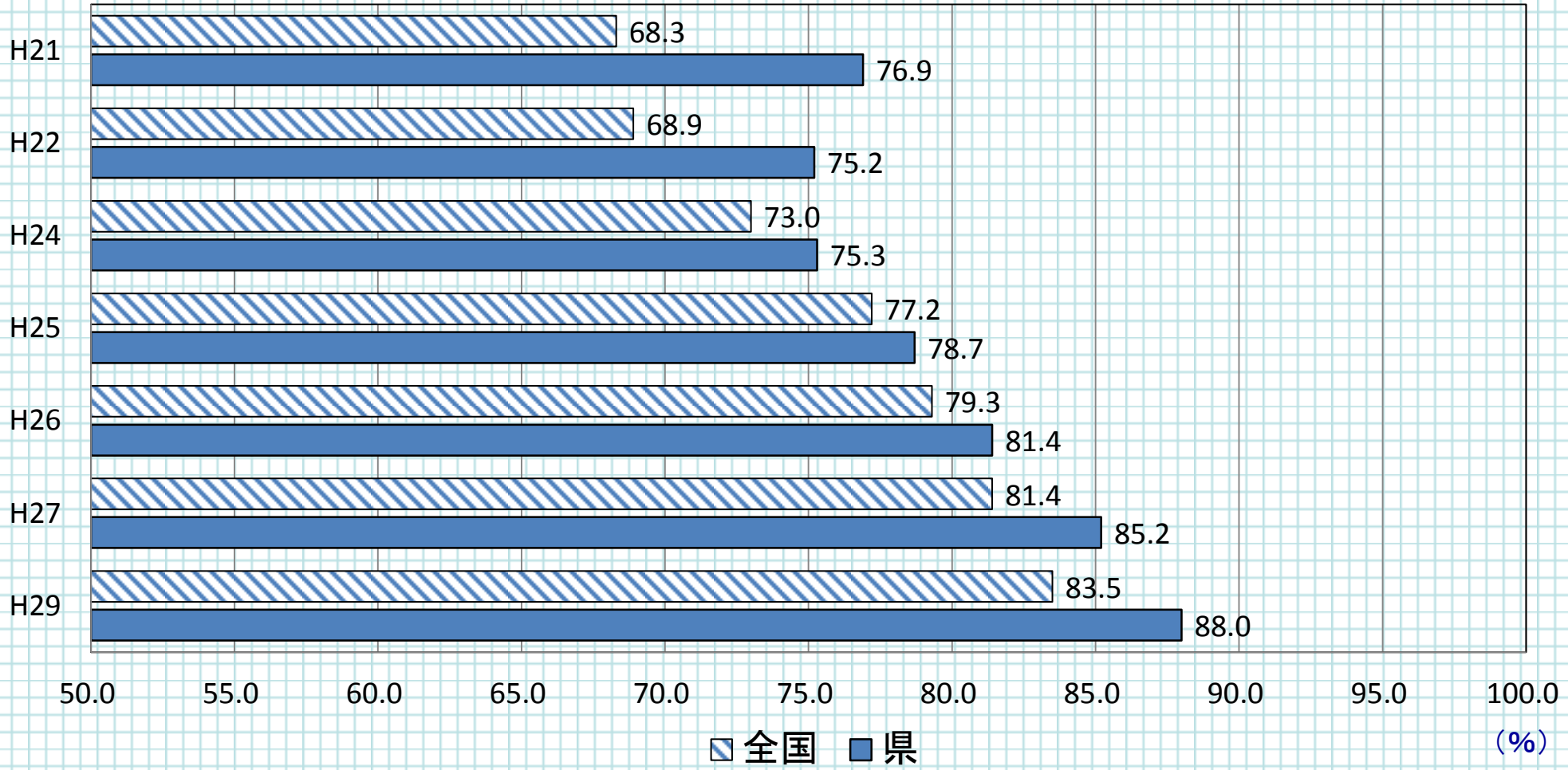
数値は、選択肢「ほぼ毎日」の肯定的評価の合計を示す。



# Ⅲ－5 調査結果の分析②－1

## 【中学校】「校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか」

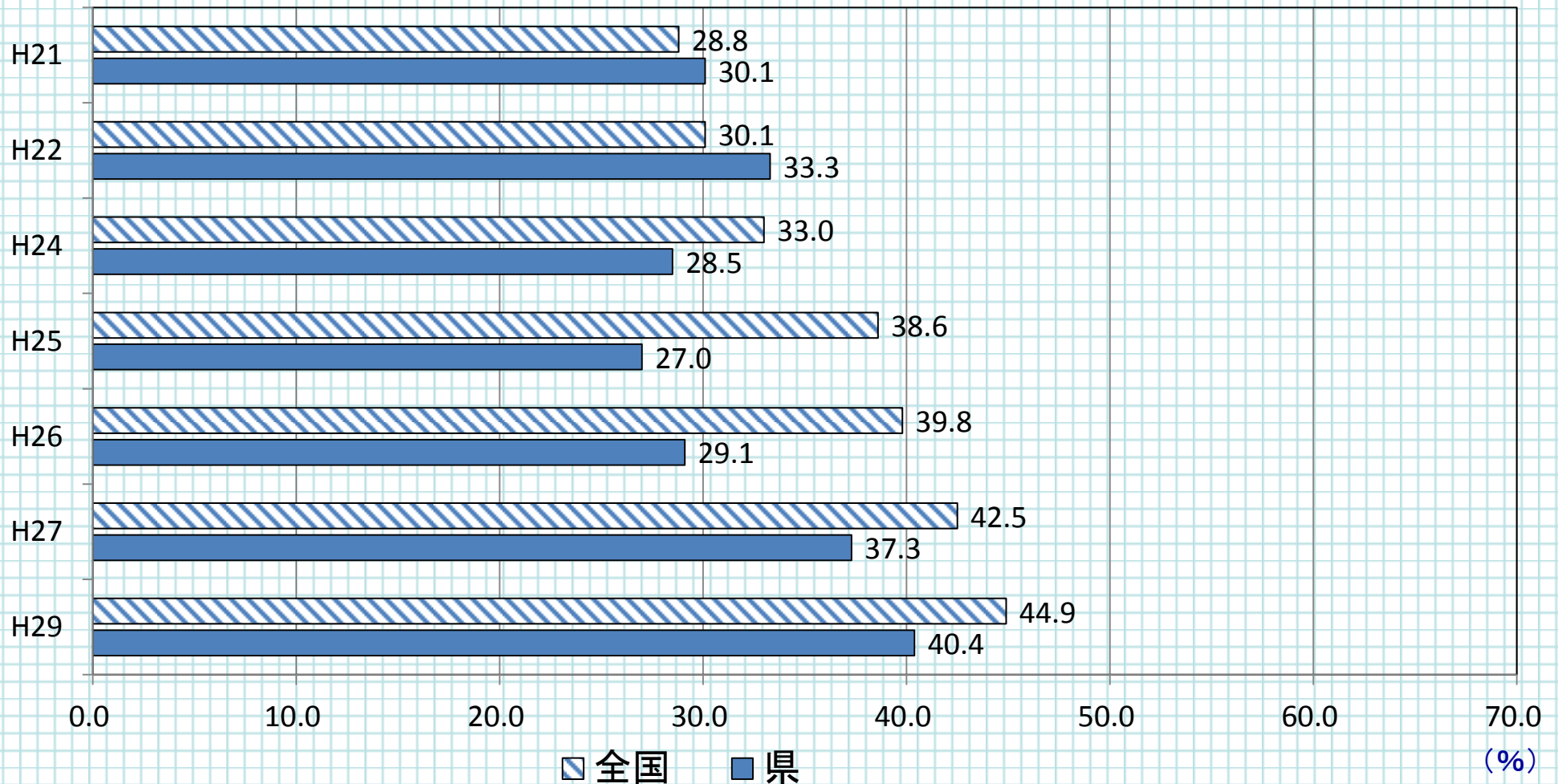
数値は、選択肢「ほぼ毎日」「週に2～3回程度」の肯定的評価の合計を示す。



# Ⅲ－５ 調査結果の分析②－２

【中学校】「校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか」

数値は、選択肢「ほぼ毎日」の肯定的評価の合計を示す。



## Ⅲ－6 改善に向けて

### 学校質問紙から

- 調査結果を学校全体で教育活動の改善に活用している学校が多く、学校総体とした取組が進んでいます。近隣の学校と成果や課題を共有するとともに、調査結果を積極的に活用し、課題の解決に向けた授業改善の一層の推進を図りましょう。
- 授業でパソコンや電子黒板等を活用した学習活動が増えています。今後も児童生徒が学習内容の理解を深め、興味・関心を一層高めるため、活用の工夫を行いましょよう。
- 自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫した発言や発表に課題がみられます。各教科等の学習内容に応じて、指導の充実を図りましょよう。
- 授業中の児童生徒の落ち着いた学習態度等に課題がみられます。授業中の児童生徒の学習意欲を高めるとともに、基本的な学習習慣の定着を図りましょよう。
- 校内の授業を見て回っている校長が増えています。今後、授業の見回りはもとより、授業後に授業者に対してコメントを返したり、必要に応じて指導助言等を行ったりましょよう。



# IV 県教育委員会の取組

## 全小中学校を対象に、 研修会を実施します

- 熊本の教育推進会議：校長対象  
県全体の課題や、学力向上に向けた好事例をもとに、学校総体とした取組について協議
- 学力向上リーダー研修：教務主任等対象  
2つの調査問題を起点として洗い出した各学校の課題を克服するための、学校総体とした取り組みについて学校独自のプランを立てる。

## 授業改善に向けた具体的な 方策を提案します

- PDCAサイクルによる効果的な方策
- 「教科指導の重点」等の本課作成資料の積極的な活用

## 補充学習を支援します

- 全国学力・学習状況調査過去問題（単元別・領域別）及び県学力調査過去問題の県教育委員会ホームページへのアップ

児童生徒の学力向上のために

## 学力向上支援訪問を 実施します

- 全国学力・学習状況調査の結果（質問紙調査を含む）から見られる課題についての講話、演習の実施

## 好事例を発信します

- 学力向上に向けた取組事例の紹介  
補充問題の活用・家庭学習の在り方等
- 授業改善に繋がる好事例の授業を紹介  
見通し、振り返り、主体的・対話的で深い学びの視点

## 県学力調査を実施します

- 課題の改善状況の調査（12月上旬）
- 課題克服に向けた補充問題の提供（1月下旬）
- 検証改善サイクルのチェックリストの作成・配付